

自己所有林のサワラと松を使った 隅々まで換気し健康と強度を保つ家

株国興 国興ホーム

1邸(施主:66歳) 長野県塩尻市 家族構成:夫婦+子ども3人+母 構造:木造軸組工法 延床面積:263.04㎡(79.56坪) 総工費:4,500万円



和室 中廊下北側の奥座敷。床柱は6寸角の日光杉。床框はケヤキ、落とし掛けは杉。一畳の書院の間をしつらえた本格的な格式の床の間。床脇には天袋と地袋の間に簞返しのある連棚を設けた。



外観 屋敷林と青垣に囲まれたたずまい。ワラスサ入りの外壁は周囲の自然に融け込むよう配慮された。



玄関ホール 広いスペースを確保した玄関ホール。正面に花を置く飾り棚を設けた。天井は格式を思わせる格天井。自己所有林からのサワラを使った腰板とジュラックス塗りの壁。



玄関 シューズクロークは仕切りをつけて一室とした。動線の焦点となる玄関ホールは生活通路として、広いスペースが確保された。

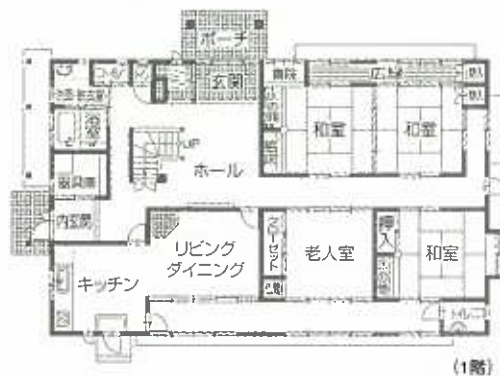
- 面積
 - 敷地面積 / 770.24㎡ (232.98坪)
 - 延床面積 / 263.04㎡ (79.56坪)
 - 1階 / 183.55㎡ (55.52坪)
 - 2階 / 79.49㎡ (24.04坪)
- 工事費
 - 総工事費 / 4,500万円
- 外部仕上げ
 - 基礎 / 鉄筋コンクリートベタ基礎、モルタル塗り仕上げ
 - 外壁 / サハラ ワラスサ入り・一部腰板
 - 屋根 / 三州瀬戸瓦葺き
 - 柱 / 檜・ヒバ・ツガ
 - 土台 / ヒバ
- 内部仕上げ
 - 玄関 / 床: タイル、壁: ジュラックス塗り、天井: 杉葺き目
 - ホール / 床: 縁甲板、壁: ジュラックス塗り、腰板張り、天井: 杉葺き目
 - 和室 / 床: 畳、壁: ジュラックス塗り、天井: 杉空イナゴ葺き
 - 床柱: 日光杉(6寸)、床框: ケヤキ、床板: ケヤキ、落とし掛け: 杉
 - リビング・ダイニング / 床: 縁甲板、一部タイル貼り、壁: ジュラックス塗り、タイル貼り、天井: クロス
 - 洗面・脱衣室 / 床: クッションフロア、壁: クロス、天井: クロス
 - 浴室 / システムバス
 - 暖房 / 薪ストーブ



リビング・ダイニング リビングには薪の暖炉を設けた。間仕切りを取ればリビング・ダイニング、そしてキッチンまで一体となった広い空間になる。



和室 南東側の和室8畳。力強い磨き梁は自己所有林から切り出した松丸太。



設計のポイント

塩尻市の裾野に広がる傾斜地からは、北アルプスの白馬三山から常念岳、西山まで望むことができます。屋敷林と青垣に囲まれて建つ1邸は、ワラスサを入れた外壁も自然に調和する和風住宅。それまでの築100年の家は、冬は寒く夏は暑く我慢を強いられていました。そこで外断熱工法に実績があり、製材から施工まで一貫して行えること、誠実な姿勢にもひかれ、国興ホームに新築を依頼。暑さ・寒さの解消と共に、対面式キッチン・広い玄関・中廊下・裏出入口の設置などの使い勝手と、設備機器の先取りも重視されました。

耐震のために耐圧盤コンクリート基礎とし、強度のある自然乾燥材によりしっかりとした木組みを行っています。主要構造材は防蟻剤を使わずにすむ檜・ヒバ。健康と木材の腐朽を考慮して、同社独自の自然の空気を生かしたスカイシステム(ハイブリッド換気)で床下・壁内・室内・小屋裏を換気し、蓄熱を活かします。また、お施主様自己所有林のサワラの原木を造作や内装材に、松丸太は磨き梁に使い、塗装もできるだけ自然なものに。

間取りは、玄関の広いホールから中廊下を通って客間座敷へといった昔ながらのゆとりあるスペース。一方、生活スペースは南側に集められ、開口部を大きくして光を取り入れ、冬のサンルーム効果を考慮。1邸は、快適に暮らせる設備を導入しながらも、和風の味わいを感じられるたずまい。使い勝手も良くお施主様もたいへん満足されています。